

この度、あしぎん景気動向調査(第 132 回あしぎん景況調査、第 71 回県内産業景気動向調査)の結果がまとまりましたので、別紙の通り発表させていただきます。今回のポイント及び概要は下記の通りです。

記

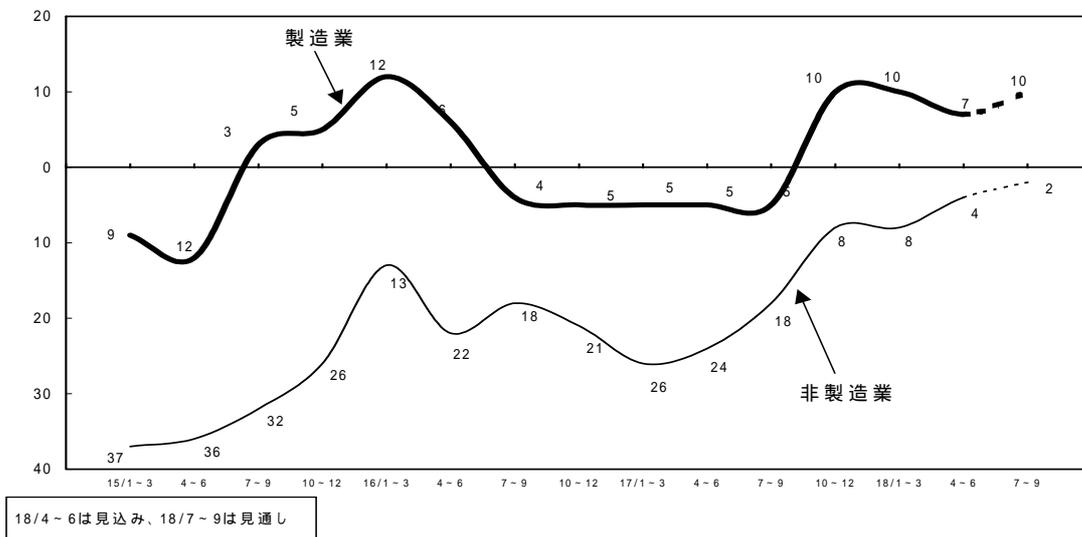
1. 第 132 回あしぎん景況調査(栃木・群馬・茨城・埼玉の 4 県に本社または事業所を有する企業を抽出)企業の景況感は、緩やかな回復傾向にある。

今期(18 年 4 ~ 6 月期)の業況判断 D.I. 値は、製造業が 7、非製造業が 4 となった。前期(18 年 1 ~ 3 月期)に比べ、製造業は 3 ポイント悪化したが、非製造業は 4 ポイント改善し、基調としては緩やかに回復している。

来期(18 年 7 ~ 9 月期)は、今期に比べ製造業が 3 ポイント、非製造業が 2 ポイントそれぞれ改善する見通しである。

製造業では、足元の業況判断 D.I. 値は悪化したものの今期は 3 四半期連続で改善企業超なるなど、景況感は踊り場の状況を脱し回復の動きとなっている。一方、非製造業では、依然として採算面などに厳しさが残るものの全体では持ち直し傾向となっている。

業況判断 D.I. 値



業界天気図

快晴の業種	晴れの業種	薄日の業種	曇りの業種	小雨の業種	雨の業種	大雨の業種
0 (0)	4 (1)	5 (-2)	4 (0)	4 (+1)	0 (-1)	2 (+1)

全 19 業種(リゾート旅館ホテルはサービスを含む)の内訳、上記数値は業種数、カッコ内は前期比

本件に関するお問い合わせ先 : 融資本部 石川 028-626-0443

(1) 概要

主要項目別の動き

製造業

ア) 業況

業況判断D.I.値の今期見込み(18年4~6月期)は7と前期実績を3ポイント下回った。業種別にみると、プラスチック、飲・食料品など5業種が改善したものの、紙・パルプ、電気機械など7業種が悪化した。

イ) 生産

生産・売上D.I.値の今期見込みは18と前期実績と3ポイント下回った。

ウ) 経常利益

前年比増減D.I.値の今期見込みは3と前期実績を2ポイント下回った。

エ) 設備投資

実施企業割合の今期見込みは76%と前期実績を1ポイント下回った。また、投資額D.I.値の今期見込みは42と前期実績を4ポイント下回った。

非製造業

ア) 業況

業況判断D.I.値の今期見込みは4と前期実績を4ポイント上回った。業種別にみると、サービス、卸売が改善したものの、建設、小売は悪化した。

イ) 売上

生産・売上D.I.値の今期見込みは7と前期実績を5ポイント下回った。

ウ) 経常利益

前年比増減D.I.値の今期見込みは10と前期実績を2ポイント下回った。

エ) 設備投資

実施企業割合の今期見込みは58%と前期実績と2ポイント下回った。また、投資額D.I.値の今期見込みは58と前期実績と1ポイント下回った。

(2) 業界天気図の動き(19業種)

快晴(業況判断D.I.値41以上)

「快晴」は0業種で前期実績と同数となった。

晴れ(業況判断D.I.値26~40)

「晴れ」は4種で前期実績と比べ1業種増加した。

薄日(業況判断D.I.値11~25)

「薄日」は5業種で前期実績と比べ2業種減少した。

曇り(業況判断D.I.値10~10)

「曇り」は4業種で前期実績と同数となった。

小雨(業況判断D.I.値11~25)

「小雨」は4業種で前期実績と比べ1業種増加した。

雨(業況判断D.I.値26~40)

「雨」は0業種で前期実績と比べ1業種減少した。

大雨(業況判断D.I.値41以下)

「大雨」は2業種で前期実績と比べ1業種増加した。

2. 第71回県内産業景気動向調査(「あしぎん景況調査」の対象企業のうち、栃木県内に本社または事業所有する企業を抽出)

企業の景況感は、緩やかな回復傾向にある。

今期(18年4～6月期)の業況判断D.I.値は、製造業が6、非製造業が2となった。前期(18年1～3月期)に比べ、製造業が5ポイント悪化したものの、非製造業が4ポイント改善し、基調としては緩やかに回復している。

来期(18年7～9月期)は今期に比べ、製造業が5ポイント改善、非製造業が2ポイント悪化する見通しである。

業況判断D.I.値

